

令和3年2月24日

在学生の皆様へ

学 長

令和3年度前期における授業・ゼミ等の実施方針について

日頃より、新型コロナウイルス感染拡大防止に協力いただき、ありがとうございます。

さて、令和3年度前期の授業・ゼミ等の実施については、別紙のとおりレベルを定め、「R3レベル2」により開始することといたします。

依然、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、大学としては、感染防止対策を講じていきます。その上で、原則、対面によるものとしつつ、教室の規模や受講者数、教育効果などを勘案し、非対面やハイブリッドによる授業も取り入れていくこととします。

学生の皆様におかれましては、引き続き不便をかけますが、この実施方針について理解いただき、学修の充実に努めていただきますよう、お願いいたします。

なお、今後の状況により、レベルの変更等を行うことがあります。その際は、事前にお知らせいたしますので、あらかじめご承知おきください。また、通学に不安があったり、持病があったりする方は、「R3レベル1」以上の場合において考慮しますので、教務課や担当の教員に連絡してください。

今後も、本学ホームページや連絡通知を見落とすことのないよう、お願いいたします。

以上

別紙

令和3年度前期における授業・ゼミ等の実施について

方針1 R3レベル0～2については、原則として対面による実施とする。

ただし、非対面で実施した方が対面で実施するよりも教育効果が見込まれる科目については、教員の判断のもと、非対面、ハイブリッドによる実施とする。

方針2 R3レベル3～5については、原則として対面による実施とはしない。

方針3 教育効果を高めるとともに、学生と教員、及び学生同士の交流の場を確保し、大学生活をより充実したものにするために、1回生の導入科目や、教職科目のうち対面による実施の効果の高い科目を優先して教室を割り振る。

レベル	R3レベル0	R3レベル1	R3レベル2	R3レベル3	R3レベル4	R3レベル5
実施方針	原則、対面による実施とする 非対面で実施した方が教育効果が見込まれる科目については、非対面、ハイブリッドも可			原則、対面による実施としない		
授業 講義 (卒論・修論等発表会 含む) 実験・実技 学外授業	○	教室収容定員 2/3 以下○	教室収容定員 1/2 以下○	教室収容定員 1/2 以下○	非対面	非対面
		○			教室収容定員 1/2 以下○	
		教員が指示する	教員が指示する	教員が指示する	教員が指示する	停止
ゼミ・個別指導(卒論・修論等の個別指導を含む)		○	○	○	教室収容定員 1/2 以下○	非対面
学生の学内での自習					事前に入構申請	停止
教育実習 介護等体験 学校フィールド演習Ⅰ・Ⅱ	実習校・各施設等の判断による					

※1：いずれのレベルにおいても、対面の場合は「3密」回避等、感染防止対策を教員の管理・責任のもとで徹底する。マスクの着用、及び事前・事後の手指・器具・机等の消毒は必須。

※2：「ハイブリッド」とは、クラスを対面受講者とリアルタイム（またはオンデマンド）配信受講者に分け、同時に受講したり、受講者を週ごとに入れ替えたり、15回の授業のうちの半数回を対面、半数回を非対面としたりする授業方法のことをいう。

※3：「教室の収容定員の「2/3」とは、3人用机に、1席あけて2名が着席するイメージ。

※4：R3レベル1～3においては、101教室は学内で非対面授業を受講する教室として確保するので使用不可。

※5：履修者実績に基づき教務課において事前に教室の割り振りを行う。

※6：「事前に入構申請」は、学生自身が学生支援課に申請することをいう。同課で検討して不可になる場合もある。

※7：学生の通学における感染の不安は、R3レベル1以上の場合において考慮することとする。

※8：今後、各レベルの間にレベルを設けるなど、変更することがある（レベル1.5、2.5、…等）。変更の場合は遅くとも2週間前には発令するが、感染状況により急な変更になる場合もある。